



地方都市再生を考えるリレーシンポジウム

UR 都市機構では、大都市から地方都市まで、民間事業者や地方公共団体のみなさまと協力し、都市再生の推進に取り組んでいます。本リレーシンポジウムでは、特に地方都市にフォーカスし、UR の取り組みのご紹介やパネルディスカッションを通して、今後の地方都市のまちづくりについて考えます。

- 主催者あいさつ **UR 都市機構 理事 杉藤 崇**
- 情報提供 **地方都市再生に向けた国の最近の取組 / 国土交通省 都市局まちづくり推進課**
- URの取り組み紹介 **UR の地方都市再生の取り組みについて / UR 都市機構 都市再生部全国まちづくり支援室**
- パネルディスカッション **新しい時代の再開発はありえるか？!**
次の時代に地方都市が必要としている都市戦略を様々な視点からディスカッションを行い、実践に移すための方法論を追求したい。
- ネットワーキング

パネリスト：馬場 正尊氏 × 清水 義次氏 × 西村 浩氏

※プログラムは変更される場合がございますので、予めご了承ください。

2018 5.24.Thu
14:00-17:30

さっぽろテレビ塔 2F **参加無料**
北海道札幌市中央区大通西一丁目 **開場 13:30**

札幌市営地下鉄「大通駅」東西線・南北線から徒歩約 5 分、
東豊線から徒歩約 1 分ともに 27 番出入口 / JR さっぽろ駅
南口から徒歩約 15 分

※参加にはお申し込みが必要です。詳しくは裏面をご覧ください。

主 催：独立行政法人都市再生機構 後 援：国土交通省

お問い合わせ先 | 独立行政法人都市再生機構 都市再生部 全国まちづくり支援室
〒231-8315 神奈川県横浜市中区本町6-50-1 横浜アイランドタワー TEL：045-650-0842



※本シンポジウムでは、駐車場を用意しておりませんので、
ご来場の際には公共機関をご利用ください。
※本会場では、全面禁煙を実施しておりますので、ご協力
ください。

リレーシンポジウムスケジュール

TOKYO
H29.11.15
(開催済み)

FUKUOKA
H30.1.22
(開催済み)

SAPPORO

東京・福岡会場の当日の様子は、URリレーシンポジウム
ウェブサイトにて公開中！

これからの地方都市再生を考えるきっかけとなるリレーシンポジウムを、東京・福岡・札幌と順次開催しております。



ーパネルディスカッションー

新しい時代の再開発はありえるか？！

人口減少の中、地方都市は新たな再生の手法を探している。かつてのように建物を建てれば、そこに人が集まり活気が生まれる時代は終わった。

そのまちの状況の最適解を探そうとすれば、それは新築による再開発の場合も、リノベーションの場合も考えられる。ただし、かつてのように短期的な資金計画を成立させるためだけに、高容積率で建物を大きくするのではなく、まちのスケールに合った適切な規模を追求する再生手法もありえるだろう。

リノベーションと再開発は対立概念ではない。

臨機応変でかつ小さな投資によって、小さな変化を積み重ね、面に展開してゆく手法もあるだろう。

この時代の地方都市の再生は、どのようなものであろうか？

パネリストの紹介



馬場 正尊氏

建築家
株式会社オープン・エー 代表取締役
公共 R 不動産ディレクター



清水 義次氏

都市・地域再生プロデューサー
株式会社アフタヌーンソサエティ 代表取締役
一般社団法人公民連携事業機構 代表理事
3331 アーツ千代田 代表



西村 浩氏

建築家／クリエイティブディレクター
株式会社ワークヴィジョンズ 代表取締役
オン・ザ・ルーフ株式会社 代表取締役
マチノシゴトバ COTOCO215 代表

1968 年佐賀県生まれ。1994 年早稲田大学大学院建築学科修了。博報堂で博覧会やショールームの企画などに従事。その後、早稲田大学博士課程に復学。雑誌『A』の編集長を経て、2002 年 OpenA Ltd. を設立。建築設計、都市計画、執筆などを行う。同時期に「東京 R 不動産」を始める。2008 年より東北芸術工科大学准教授、2016 年より同大学教授。建築の近作として「Re ビル事業」(2014-)「佐賀県柳町歴史地区再生」(2015)、「Shibamata FU-TEN」(2017 年) など。近著に『PUBLIC DESIGN 新しい公共空間のつくりかた』(学芸出版、2015)、『エリアリノベーション 変化の構造とローカライズ』(学芸出版、2016) がある。ウェブメディアとして、2011 年より『団地 R 不動産』、2015 年より『公共 R 不動産』を立ち上げ、運営。

1949 年山梨県生まれ。東京大学工学部都市工学科卒業後、マーケティング&コンサルタント会社を経て 1992 年 (株) アフタヌーンソサエティ設立。都市生活者の潜在意識の変化に根ざした建築・都市・地域再生プロデュース、家守(やもり)事業プロデュースを行なっている。なかでも現代版家守業の実践と啓蒙に注力し、千代田区神田・裏日本橋地区や新宿歌舞伎町に続いて、北九州市小倉魚町を再生する小倉家守プロジェクトにおいてリノベーションまちづくりのビジネスモデル構築を行なっている。また、岩手県紫波町の塩漬けになった 10.7ha の町有地を新しいまちの中心にするオガールプロジェクト等、数多くの地域再生プロジェクトに取り組んでいる。

1967 年佐賀県生まれ。東京大学工学部土木工学科卒業、東京大学大学院工学系研究科修士課程修了後、1999 年にワークヴィジョンズ一級建築士事務所を設立。土木出身ながら建築の世界で独立し、現在は、都市再生戦略の立案からはじまり、建築・リノベーション・土木分野の企画・設計に加えて、まちづくりのディレクションからコワーキングスペースの運営までを意欲的に実践する。主な計画・作品に、佐賀市街なか再生計画、函館市中心市街地トータルデザイン、岩見沢複合駅舎、佐賀「わいわい!! コンテナ」、函館市電函館駅前停留所、長崎水辺の森公園橋梁群など。日本建築学会賞(作品)、土木学会デザイン賞、BCS賞、ブルネル賞、アルカシア建築賞、公共建築賞 他多数受賞。北海道岩見沢市の「岩見沢複合駅舎」は、2009 年度グッドデザイン賞大賞を受賞。

シンポジウム事前参加申込み＜平成 30 年 5 月 17 日(木) 締切＞

参加を希望される方は、下記ウェブサイトまたは FAX に必要事項をご記入の上お申し込みください。

リレーシンポジウム事務局

ウェブサイト：<http://www.ur-net.go.jp/machi-sympo/>
FAX: 03-3272-6057 (業務受託先：株 UR リンケージ販売計画部内)



※定員 100 名になり次第締め切りとなります。ご了承ください。

※本シンポジウムへの申込みに伴う氏名等の個人情報は、当日の受付および、次回以降の開催のご案内に限定して使用するものとし、適切に管理いたします。

UR 地方都市 リレー

Q 検索

地方都市再生を考えるリレーシンポジウム参加申込書【必要事項】 ※お名刺のコピーを貼り付けて頂いても結構です。

代表者名(ふりがな)

参加人数(代表者含む)

人

貴社名(部署名)

部署名：

貴社ご住所

〒

ご連絡先

TEL：

FAX：

電子メール：